

NAGASAKI YOUNG GENERATION ASSOCIATION

NYA

社団法人 長崎青年協会

16年度スローガン
「原点」

祝300号発行記念・広報誌の「原点」ルーツを探る



【長崎港・女神大橋】

平成十七年三月十日 社団法人 長崎青年協会会報 三〇〇号

2005
3

社団法人
長崎青年協会憲章
 我々は会員の団結と
 相互扶助の精神の基に
 自己の建設と
 会員の親睦を図り
 もって地域社会の発展に
 寄与する事を目的とする

会長挨拶

会長 石田 則 広



昨年末は過ごしやすい日が続き今年は暖冬だと感じておりましたが、今年に入り急に冷え込んだ影響のせいかインフルエンザが流行の兆しを見せております。皆様もお体には十分にご自愛下さい。長崎ランタンフェスティバル開催期間中に行われました媽祖行列には今年も当会からも延べ20名を超える参加をいただきました。今年も過去にない250名以上の大行列で訪れた皆様に異国情緒豊かな長崎の良さを再発見いただけたと思います。参加された皆さん大変ご苦労さまでした。

さて本日は定時総会が開催されます。平成17年度の役員選任、予算・事業案並びに事務局移転の重要議案が提案され審議いただきます。来るべき新年度にすばらしいスタートを切るためにも、どれも重要な事案となりますので慎重審議を皆で行い活発な議論をいただきたいと思ひます。今年度は当会の活動を初心に戻り新たな出発点にしようと、スローガンを「原点」とし会員の皆様と共に様々な取り組みを行い記憶に残る活動が出来ました。本当に感謝申し上げます。今期も残りわずかとなりましたが全ての会員が一致団結し、残りの活動を充実させたいと思ひます。最後までご協力の程よろしくお願ひいたします。

2 月度定時総会・例会

平成17年2月21日(月)／ホテルニュー長崎

定時総会は議長に前田君が選出され下記の出席者で総会成立宣言が行われ議事録作成人、議事録署名人を選出し議案の審議に入った。

- | | | | |
|--------|---------|-----|-----|
| 会員総数 | 65名 | 出席者 | 31名 |
| | | 委任状 | 5名 |
| | | 総 数 | 36名 |
| 議 長 | 前田 哲也 君 | | |
| 議事録作成人 | 佐藤 誉 君 | | |
| 議事録署名人 | 石田 則広 君 | | |
| | 橋田 徳之 君 | | |



第1号議案（平成17年度役員選任の件）では、現役最後の議長前田君とこれからの佐藤君（次年度会長の峰章二君より来るべき新年度の役員予定者の発表が行われ当会の新たな漕ぎ手は満場一致で可決承認された。第2号議案（平成17年度事業・予算案承認の件）では次年度の各委員長より活動の方針や意気込みが報告され対象事業に対する予算が提案された。やはり会員の減少に伴い、会費収入が減少に転じたことにより、事業費が不足することを危惧する声から上がったが、「魅力ある事業を行うことでやる気のある会員を発掘して行こう！」という意見がまとまり第2号議案も可決承認された。そして第3号議案は昨年からの審議が続いている当会の（事務局移転の件）が審議されることとなり、冒頭石田会長より趣旨説明と現在までの経緯が報告され、「重要案件でもあり慎重な審議をお願いしたい」との発言が行われた。趣旨説明の後審議に入ったが、実際に具体的な移転場所の提案が行われたこともあり、やはり各会員の事務局への想いは様々で、賛成意見や反対意見等様々な意見が出された。ここで議長の前田君よりこの議案は時間をフルに使って審議を行うことが改めて示され、これにより議場の会員の殆どが意見を述べる場を設けることが出来た。そして採決にて結審をすることとなり僅差の結果で当会事務局は平成17年度中に移転する運びとなった。今回審議された事案は当会の将来を見据えた勇気ある決断を会員が真剣に考えて出す事のできた結果であると思ひます。久しぶりに皆で存分に議論が出来た意義のある総会であった。（皆さんご苦労様でした）

あなたの住まいの、お手伝い
 不動産取引・マンション管理・損保代理店
 (社)長崎県宅地建物業協会会員

(有) 浜 福 商 会

長崎市岩屋町19番11号
 TEL 095-857-8311 FAX 095-855-1238

OB 岡田 康 信

JFTD花キュービッド加盟店

(有) 愛 花 夢

本 店:長崎市住吉町1-9 TEL 095-813-0161
 ギフトサロン店:長崎市銅座町12-9 TEL 095-822-9426
 ウィズビル店:長崎市浜町10-21 TEL 095-828-3089

OB 岡田 康 信

皆で激論!

届け俺達の想い!!!



例会・二次懇親会の模様

石田会長の挨拶の後、役員報告、委員会報告が行われた。委員会報告では3月に行われる新人事業の参加の要請が新人の佐藤蒼君を始め研修・交流両委員長からも行われた。総務例会委員会からは大久保君に待望の第2子が誕生したお祝いと同時に久しぶりに例会参加の田中君にも遅ればせながらのお子さん誕生の報告が行われた。その後総会が行われ重要案件の審議が行われたこともあり「誕生者祝い」「喜び」は来月に持ち越しとなった。総会終了後は会員の坂上君が経営する割烹大判にて2次懇親会が行われた。



田中君おめでとう



大久保君ヨカッタネ!

NAGASAKI
ISHIDASPORTS
 3-11 HAMANOMACHI NAGASAKI-CITY
 TEL 095-824-2493 FAX 095-824-2495
 会員 石田 則 広

愛情仕上げのクリーニング
ホワイト急便 (大井酒店内)
(有)パールドライ梅中通り店
 長崎市大浦町 8-33
 電話 095-821-4618
 携帯 090-8223-0144
 会員 宮崎 健太

インタビュー

社団法人 長崎青年協会

平成17年3月号をもって、当会広報誌は記念すべき300号の発刊を迎えました。毎月様々な活動や楽しい企画が掲載されるこの広報誌の原型は昭和54年に記念すべき第1号が発行され現在のモデルとなっていると認識していました。しかし調査を進めるうちに広報誌の原型となる物が第1号発行以前に存在したのであった！貴重な当時を知っておられる第7年度（昭和50年）会長の平野晴一 OB に当時の事をインタビューしました。



Q. 広報誌の原型が初代広報委員長大石巖 OB が作られる前にあったということですが？当時の事をお聞かせ下さい。

平野 OB：昭和50年当時、当会はまだ社団法人の法人格もなく、会長の自宅を事務局として使用しており、仕事を終えた仲間が集い和気藹々と遅くまで種々取組んだ事業や、そして長崎の明日について大いに語り合い、酒を酌み交わしたり、そんな良き時代でした。私が会長に就任した当時会員は50名を越え内部も組織化が進み大きな団体としての一步を歩みだしていたところでした。そうなんと全ての会員の皆さんが会の運営や各種事業の進捗状況を知る事でさらに仲間の結束を高めたいと考え、当時の総務委員長だった浜崎 昭君に相談したのがきっかけでした。呼名も広報誌ではなく会報誌としての発刊でした。

(祝) 広報誌発行

原

広報誌26年間の歴史

昭和54年度 (1~11号)



会 長
川 添 吾 郎
広報委員長
故 大 石 巖
紙面の特色
毎月例会時に講師講演が行われる。会員の職業紹介記事等掲載。

昭和55年度 (12~22号)



会 長
浜 崎 昭
広報委員長
田 中 清 治
紙面の特色
長崎の文化財（長崎の歴史）を紹介。

昭和56年度 (23~33号)



会 長
井 川 憲 太 郎
広報委員長
松 浦 孝 一
紙面の特色
毎月テーマを設けて座談会を掲載（5月号石油問題を考える）。

昭和57年度 (34~44号)



会 長
金 子 卓 司
広報委員長
佐 藤 哲 康
紙面の特色
会員のご家族・お子さんからの作文を毎月掲載。

広報誌の「原点」ルーツを探る！

Q. どのような会報誌だったのですか？

平野 OB：当時はまだ手書きで、B5版の紙4ページで構成し、当時も今と同じようにニュー長崎ホテル（旧建物）で行われていた例会の報告や、講師講演の内容、例会時の喜びボックスの内容等、また理事会の議事の内容を委員会ごとに分かりやすく編集掲載して各会員に例会開催時に配布していました。会員の反応も良く毎月楽しみにしているという声も多数ありました。

Q. 楽しい紙面だったのですね。当時の紙面が残っていませんか？

平野 OB：残念な事にそれが残ってないのです。私も思い入れがあった紙面だったので綺麗に整理して残していたのですが協会の何周年かの事業に使うから貸してくれと言われて出した後そのままになってしまって・・・（とても残念）

Q. 貴重なお話をありがとうございました。最後に広報誌について一言お願いします。

平野 OB：毎月送付していただき楽しみに読んでいます。昔の広報委員は原稿集めに大変苦勞していた事を覚えています。現在はどうか？ 広告もかなり掲載されていますが、会員の意思？ それともノルマがあるのですか？ 色々と工夫されていますね。今後も楽しい広報誌が出来る事を祈願しています。ガンバッテください。

平野 OB 様、本日はお忙しいところありがとうございました。

点

300号記念

広報誌26年間の歴史

昭和58年度 (45～60号)



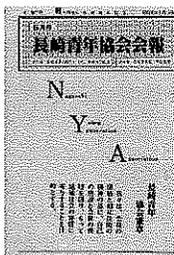
会 長
勝 本 博 文
広報委員長
徳 本 和 行
紙面の特色
青年協会発足15年記念誌
を発行。

昭和59年度 (61～70号)



会 長
太 田 勝 良
広報委員長
濱 口 康 幸
紙面の特色
この年当会は社団法人に、
もってこいコーナーには
毎月楽しいコラムが掲載。

昭和60年度 (71～82号)



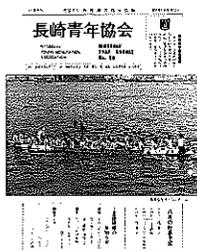
会 長
吉 野 信 義
広報委員長
福 田 穂 積
紙面の特色
シリーズ「ナガサキ・アー
バンルネッサンス2001」
を毎月掲載。

昭和61年度 (83～94号)



会 長
小 川 一 郎
広報委員長
馬 場 正 勝
紙面の特色
新春号に初のカラー写真
を使用・楽しい同好会報
告も印象的。

昭和62年度 (95~106号)



会 長
森 山 茂
広報委員長
浜 本 勝 馬
紙面の特色
OB 訪問コーナーを毎月
掲載。

昭和63年度 (107~118号)



会 長
江 村 大 洋
広報委員長
岩 満 克 弥
紙面の特色
この年は当会20周年、式
典も賑やかに掲載。

平成1年度 (119~129号)



会 長
野 上 林 八 郎
広報委員長
平 山 英 則
紙面の特色
表紙が初の2色刷りに
(黒・青)。

平成2年度 (130~141号)



会 長
田 代 博 昭
広報委員長
松 尾 秀 二
紙面の特色
会員の仕事場の女性を紹介する「べっぴんさん、いらっしやい」コーナーが登場。

平成3年度 (142~153号)



会 長
劉 濟 才
広報委員長
中 村 善 人
紙面の特色
毎月季節の花が表紙を飾る。

(祝) 広報誌発行
原
広報誌26年間の歴史

平成4年度 (154~165号)



会 長
船 越 正 治
広報委員長
城 谷 富 好
紙面の特色
未来の「長崎のまちづくり図」を表紙に採用。

平成5年度 (166~177号)



会 長
森 保 博
広報委員長
伊 藤 克 樹
紙面の特色
カラー表紙を通年採用、
25周年新春号発刊。

平成6年度 (178~189号)



会 長
桑 田 啓 吾
広報委員長
猿 渡 卓
紙面の特色
長崎に縁のある歴史上の
人物を表紙に採用。

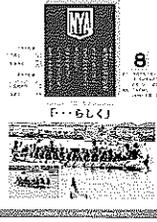
平成7年度 (190~200号)



会 長
新ヶ江 憲 和
広報委員長
故 渡 部 一 夫
紙面の特色
「会長は板前さん」(クッキングコーナー)の連載。

平成8年度 (201~212号)

長崎青年協会



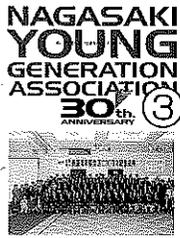
会長 田川俊幸
広報委員長 原喜一郎
紙面の特色 「群雄の声」OB列伝を掲載。

平成9年度 (213~224号)



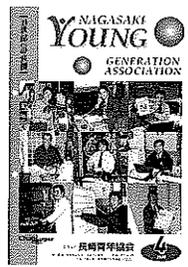
会長 川原哲也
広報委員長 松尾浩
紙面の特色 毎月会員宅の夕食を紹介する「突撃!夕食おじゃま虫」を連載。

平成10年度 (224~234号)



会長 和田正信
広報委員長 野鳥徹也
紙面の特色 この年設立30周年「青年協会の知ってるつもり」コーナーが登場。

平成11年度 (235~245号)



会長 伊藤克樹
広報委員長 吉田浩文
紙面の特色 働く会員の姿を表紙で飾る。「お父さんの通知表コーナー」が連載。

点

300号記念

広報誌26年間の歴史

平成12年度 (246~256号)



会長 地島秀
広報委員長 松島健二
紙面の特色 「DEEPな人々」で毎月こだわりを持ったマニアな会員を紹介。

平成13年 (257~267号)



会長 野鳥徹也
広報委員長 井手清治
紙面の特色 A3版2つ折のかわら版スタイルの紙面を採用。

平成14年度 (268~278号)



会長 田川清浩
広報委員長 仁藤和彦
紙面の特色 「事業スナップ集」で会員の素顔を掲載。

平成15年度 (279~289号)



会長 前田哲也
広報委員長 末石順
紙面の特色 「35周年記念対談」を掲載。

平成16年度 (290~300号)



会長 石田則広
広報委員長 片岡義勝
紙面の特色 この年長崎市と合併した周辺6町を紹介。

2005年度 社団法人 長崎青年協会 組織図

直前会長
石田 則広

会長
峰 章二

監事
池田 佳央
宮崎 健太

事務局長
片岡 義勝

副会長
渉外担当
馬渡 鉄洋

副会長
総務担当
山崎 伸一

副会長
会員担当
三瀬 健司

副会長
事業担当
麓 浩二

(凡例)
委員長
副委員長

総務	例会	広報
井上 雅之	山田 祐海	山田 吉盛
副島 秀継	松元 一人	江口 秀孝
三谷 勝大	福田 増幸	野崎 地平
平田 賢史	池田賢太郎	下釜 寛
	井手 亮太	松下 道
	吉田 宗由	

地域社会	地域事業
安野 信博	武田 誠
大隈 信一	谷川 英幸
飯塚 和哉	田中 達也
末次 成礼	山口健太郎
森永 仁	橋田 徳之
片岡富美春	瀬戸口政純
有谷 将哉	大久保 隆
宮崎 高舟	

渉外	会員開発
	小川 順
	福永 亘
坂上 隆弘	中尾 仁
末石 順	中村 秀平
堀川洋一郎	

研修	交流
堀田 健二	野口富士男
泉 栄吉	桂 雄剛
岸本 純考	松原 敏夫
川添 隆太	佐藤 英仁
佐藤 誉	長畑 大輔
	浅野 光広
	石原 亮



住宅・店舗・設計施工



総合建設業

敦建設

〒850-0906 長崎市南ヶ丘町7-15
TEL/FAX 095-820-9366
携帯 090-3193-8204
E-mail tetsu@ngs2.cncm.ne.jp
会員 馬渡 鉄洋

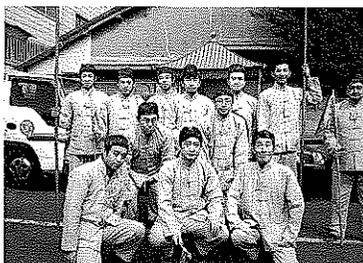
コンサルティングの ソニー生命

〒850-0033 長崎市万才町3-5 朝日長崎ビル10F
Tel 095-825-2311 Fax 095-825-2118
携帯 090-1928-8224
会員 末石 順

媽祖行列

2月13日(日)・2月20日(日)

長崎の冬の風物詩「ながさきランタンフェスティバル」の開催期間中に行われた媽祖行列に協会員で参加してきました。本年の事業計画でこの対外事業は特に力を入れようと方針が示されていたため、両日を合わせ延20人と大勢の会員の参加となった。当日は唐船の根引きの役割を担うことになったのであるが、ここで特記しなければならないのは参加した坂上君の活躍である！この行列の主催者役である荷主が下船時にバランスを崩しあわや転倒の危険を咄嗟の判断で支え大事に至らなかったということだ。この事は後に実行委員会より改めて感謝されることとなった。参加者の想いがこの活躍劇を生み爽やかな汗を流す事が出来た本当に良い事業でした。(参加された皆さんお疲れ様でした)



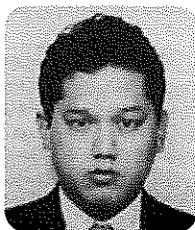
2月13日参加者



2月20日参加者

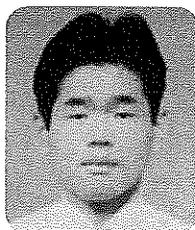


私たちが卒業します！
♪♪あの頃君は若かった～♪♪



前田 哲也君

平成6年4月入会(当時30歳)



吉野 忠幸君

平成6年4月入会(当時29歳)



桑岡 隆太君

平成6年7月入会(当時29歳)



野田 真幸君

平成7年5月入会(当時30歳)



吉田 浩文君

平成9年2月入会(当時32歳)



片岡 浩一君

平成13年2月入会(当時36歳)

室内装飾全般

長崎県知事許可(般-16)第11412号

IG アイティージー

〒850-0954 長崎市新戸町3丁目28-14-201
tel/fax 095-878-7817 携帯 090-8419-7907

会員 谷川 英幸

YAMAX

YAMAX CORPORATION

株式会社 ヤマックス

医療ガス・分析用ガス・在宅酸素
病院設備機器・工業用ガス・溶接切断機材

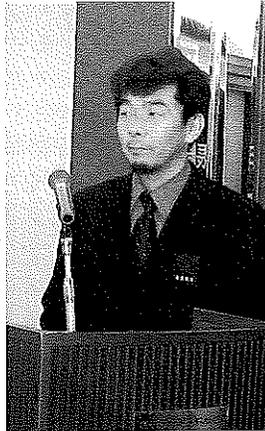
〒851-1133 長崎市小江町2734-58
TEL 095-846-7777 FAX 095-846-7242

会員 山田 吉盛

今年1年を振り返る

総務例会委員会 委員長 馬渡 鉄洋

当初は、総務系をしたことが無く、どうなることかと心配しましたが、石田会長から是非受けてくれとのお願いで、やってみました。4月の総会では、協会に入って初めてテンパッてしまい、前途多難なスタートでしたが、月を重ねるごとにだんだん慣れてきて、委員会が一致団結して出来るようになってきました。9月からは、みんなに余裕ができてきていろんな意見が出てくるようになりました。今年度は、総務例会委員長を受けて違う自分見つけたような気がします。今年度は皆さんのお陰で例会が無事に成功したことを感謝いたします。



広報委員会 委員長 片岡 義勝

「終わった～!!!」本当にあっという間の1年でした。この1年間広報誌が無事発行できたのも各種事業に真剣に取り組む会員の皆さんがいたからこそ、我々委員会も楽しんで活きた写真、楽しい記事を書く事ができました。取材にご協力いただいた全ての会員の皆さんに感謝！麓総務室長に感謝！！そして最後まで頑張ってくれた広報委員会の皆さん本当にありがとうございます。感謝、感謝です。。。。



研修開発委員会 委員長 安野 信博

最初は正直不安だらけでした。入会以来7年間さして協会活動に積極的ではなかった私は恥ずかしい話、何をすればよいかまったく分かりませんでした。しかし理事者の方々の良きアドバイスと、なにより委員会メンバーの方々のご協力により何とか一年間乗り切れました。欲を言えば限がありませんし反省点も沢山ありますが、それは次年度に活かしたいと思います。青年協会に入会してよかったと思えました。皆さん一年間ありがとうございました。



茶 嬉野茶・八女茶・進物・各種引出物
ご贈答品(祝・佛事)にお茶を
茶問屋

お茶の新緑

〒850-0992 長崎市江川町237
TEL 095-878-9779 FAX 095-878-1271
会員 小川 順

うなぎ・焼き鳥・くじら・各種海産物

うなぎの池田屋

1000円以上から配達いたします 御気軽にお電話ください
〒850-0017 長崎市新大工町5-10(玉屋内)
TEL 095-823-4324 FAX 095-822-8398
会員 池田 賢太郎

交流委員会 委員長 山田 祐海

初めての委員長を受け、この一年を振り返ってみると、本当に委員会の皆さんの協力無しでは何も出来なかつたらうなというのが、実感です。最初6月に予定していた家族懇親会が、雨の為中止になってしまい、委員会一同残念がっていたのですが、どうしても開催したい！という井上副委員長をはじめ、委員会の皆の熱意のおかげで無事9月に行うことができました。ソフトボール大会でも忘年懇親会も初委員長の私を皆さんが助けてくれたので無事に終わらせる事が出来たと思います。頼りなかつた委員長でしたが、山崎室長・委員会の皆さんどうもありがとうございました。



地域事業委員会 委員長 坂上 隆弘

「完璧でした、以上」は冗談で、OB・会員には必要以上の多大の迷惑をかけた事と思います。理事会では私個人の主張により理事者を困らせました。しかし、「おくんち事業」は私にとっては想像以上の思いがあり、坂上がした「おくんち事業」として、いけるとこまで超前向きでやりました。皆さんはボランティアに対して色々な考えがありますが、私は無理をして初めて人間は成長できると信じています。協会の憲章にもある自己の建設と会員の親睦にこだわって頑張りたいと思います。本当に勉強させて頂いてありがとうございました。また、「厄入り事業」に関しては皆さんに多数のご参加を頂きありがとうございました。当事者が今年、無事に厄除けすることを願っています。



地域社会委員会 副委員長 川添 隆太

この1年を振り返ってみて、いろんなことがありました。特に青少年育成事業では今まで経験しなかつたことがたくさんありました。一口に「キャンプ」と言っても、当日よりその前の準備の大切さや、多くの人からの協力がなければ実行できないこと。特に高島の青年部の方々にはお世話になりました。また、炭釜の歴史などを子供たちと一緒に体験し、学べたことはとてもよかったと思います。いろいろな反省もありましたが、楽しくそしていい経験をさせていただきました。改めてご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



丸協保険サービス 日新火災海上保険 代理店 GEエジソン生命 代理店
自動車保険/火災保険/傷害・がん・生命保険

- お客様のニーズにあった各種保険のご提案。
- 自動車事故処理のご相談。

丸協不動産 (社)長崎県宅地建物協会 長崎県知事(〒)第1789号
不動産売買仲介/賃貸仲介

- 不動産物件紹介 (売りたい! 買いたい!)
- 資産運用までお任せください!!

長崎市宝栄町18-21 / TEL095-864-1439

会員 麓 浩 二

中華風居酒屋 **Koukaen**

長崎市目覚町11-24 tel(095)844-1310

- 営業時間● 11:00~14:30、17:30~23:00 (ラストオーダー22:00)
- 毎週火曜日定休●(日・祭日のランチは休み)

会員 藩 賢 剛

今月の誕生者 (3月)

藩 賢 剛 君	昭和44年3月17日生 (平成9年2月入会)	36歳
山 田 祐 海 君	昭和48年3月17日生 (平成12年7月入会)	32歳
井 手 亮 太 君	昭和48年3月26日生 (平成15年5月入会)	32歳
下 釜 寛 君	昭和52年3月23日生 (平成16年8月入会)	28歳

今月の行事予定

3月4日(金)／理事会 6日(日)／新入事業「親子でターキー ハッスル!ハッスル!!・ボーリング大会」
15日(火)／理事会 (引継会) 22日(火)／卒業者を送る夕べ (ホテルニュー長崎)

お子さん誕生おめでとうございます

大久保 隆君 長男
海斗君 (かいと くん)
生年月日 平成17年1月28日12時05分
生れた時の体重 2,902g
父から一言
「大きくなったら魚釣りに行こう!」



かいと くん

◀ 編集後記 ▶

最近読んだ本の中に「他人に儲けさせることで自分の運を開く」という一文が目にとまった。お金は自分一人だけが儲けようと考えていると、儲からないように出来ている。特に人と組んで商売をした時には利益はきちんと分け合う事が必要で、そのことが仕事を快適に進め長い利益につながるということであった。人間は苦しくなると余裕が無くなりつい自分の事だけを考えてしまう。苦しい時にはなおさら相手と分け合う事、敬う気持ちが大切だ。当会の憲章にある「相互扶助の精神」、自分自身が仕事をしながら協会活動が出来る事に感謝する気持ちを常に忘れず、一日一日を大切にすることで自分の運も開く事ができると思う。(常に感謝の念を忘れずに!・・・)

1年間ご愛読ありがとうございました。

平成16年度広報委員会 STAFF 総勢9名

委員長	片岡 義勝				
副委員長	堀田 健二				
委員	野田 真幸	・ 藩 賢 剛	・ 飯塚 和哉		
	副島 秀	・ 福 永 巨	・ 井手 亮太		
	佐藤 誉				

総合建設業

堀田 建設

長崎県知事許可(般-13)第7629号
〒850-0834 長崎市上小島4丁目6番30号
TEL 095-827-5092 FAX 095-827-5174

horix@sings.jp

会員 堀田 健二



特別養護老人ホーム

かたふち村

長崎市片淵3丁目500番地2

☎095-828-5680

FAX 095-811-2133

会員 片岡 義勝